

おとうさん

谷川俊太郎

誰の顔も見ずに/お父さんは/
まっすぐ/前を見て/ごはんを食べている。

ごはんの湯気で/メガネが曇っているので、
弟が/そういたら、
うん/とこたえて/めがねをシャツの裾で拭いた。

お父さんが何を考えているのか、
わたしには/分からないけど、
わたしのことではないと思う。
弟のことでも/お母さんのことでもない。
何を考えているの/と聞けば、
別に/と言うに決まってる。

前に/お父さんの子供の頃の写真を見た。
広い野原の真ん中に立って、
まぶしそうに/空を見上げていた。
今でも/時々似たような顔をする。

お父さんの箸が/里芋をつまんだ。
口を開けたら/奥の金歯が見えた。
おとうさん/ずうっと生きていて。